

レジメン名

胃がん－CAPOX (Capecitabine＋L-OHP)＋Zolbetuximab (2サイクル目以降)

1. 適応疾患：CLDN18.2 陽性かつ HER2 陰性の治療切除不能進行・再発胃がん

2. 投与量と投与スケジュール

薬剤名 投与方法・投与量 (day)	投与スケジュール									
	1	・	・	・	14	・	・	・	21	1
Cape (カペシタビン) 2000mg/m <sup>2</sup> /日	●	●	●	●	●					●
L-OHP(オキサリプラチン) 130mg/m <sup>2</sup> /日	●									●
Zolbetuximab (ビロイ) 600 mg/m <sup>2</sup> /日	●									●

Cape 用量

体表面積	1 回用量(錠数)	1 日用量(錠数)
1.36 m <sup>2</sup> 未満	1200mg(4 錠)	2400mg(8 錠)
1.36 m <sup>2</sup> 以上 1.66 m <sup>2</sup> 未満	1500mg(5 錠)	3000mg(10 錠)
1.66 m <sup>2</sup> 以上 1.96 m <sup>2</sup> 未満	1800mg(6 錠)	3600mg(12 錠)
1.96 m <sup>2</sup> 以上	2100mg(7 錠)	4200mg(14 錠)

〈投与方法〉 3 週を 1 コース

〈評価方法〉 CT により RECIST 基準により評価

〈併用レジメン〉 無

〈上限クール〉

- ・ Zolbetuximab は投与中の嘔気が出現しやすいため、下記投与速度(注 1)を設定する。
- ・ 悪心・嘔吐による中断があった場合、次回より制吐薬の追加を考慮する。

〈投与速度(600mg/m<sup>2</sup>) : 注 1〉

開始から	投与速度
0～30 分	45mL/h
30～60 分	90mL/h
60 分以降	180mL/h
Grade2 以上の悪心・嘔吐発現時	Grade1 以下に回復するまで中断し、減速して再開できる。

## Day1

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	アロカリス 235mg パロノセトロン 0.75mg デキサート 9.9mg ポララミン 5mg 生食 100mL	点滴	30分
②	生食 50mL	点滴	全開
③	ビロイ _____mg 生食 _____mL 注射用蒸留水(溶解用) 100mL (1V/Aq 5mL で溶解)	点滴	投与速度(注1) 参照
④	生食 50mL	点滴	全開
⑤	オキサリプラチン _____mg 5%ブドウ糖 500mL	点滴	120分
⑥	5%ブドウ糖 100mL	点滴	L-OHP と同じ ペースで

## Day1～14(内服)

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	カペシタビン _____mg	内服	分2(朝夕食後) day1 夕～内服

## Day1～21(内服)

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	ピドキサール(10) 6T	内服	分3(毎食後) day1 夕～内服

## Day2～3(内服)

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	デカドロン 8mg	内服	分2(朝・昼)